

目標からルート「逆算」

SDGs実践手法学ぶ

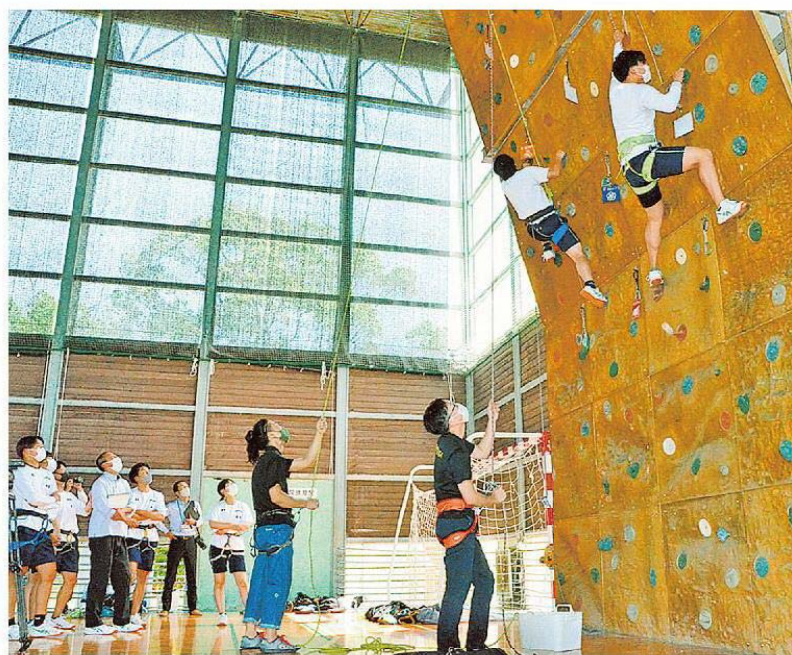
玉野高3年クライミング通じ

玉野高の生徒が2sの実践手法について戦った生徒がゴール日、玉野スポーツセンターで説明を受けた後、クから「逆算」した登りター体育館にある高さライミングへ。「貧困 やすいコースを、次に約10段のスポーツクラをなくそう」「質の高登る生徒へアドバイイミング用の壁を登りい教育をみんなに」とスするなどして「バックながら、SDGs（持続可能な開発目標）にける17の目標を記したカードを取り付けた壁を登り、それぞれが初めてのクライミングゴールに設定したカグだった濱颯（あき）さんロードにタッチ。先に挑（17）は「登ってみると

県山岳・スポーツクライミング連盟の神田恭行副会長らが講師を務め、体育の授業「スポーツI」を選択している3年生13人が参加した。

生徒は、「バックキヤスティング」という、未来の目標から逆算して今何をするべきかを考えるSDG

周りが見えなくて思 かった。決まったゴール 出ることが大事だ と感じた」と話して いた。 いろいろアイディア



同高では昨年からク ライミングでSDGs を体感する授業を 実施。16日には「バック キヤスティング」など を使って玉野の課題を 解決するワークショップ にも取り組む。

（矢吹喜一郎）

SDGsを体感するク ライミングに取り組む玉野高の 3年生